全国都市ガス事業者の取り組み

ガス警報器白書2024

ガス警報器工業会

目次

警報器特集
さらなる需要家の保安向上へ

● **開栓時成約率目標70%**－メーカーの協力で更新進める　P 2

● **都市ガス用 18.9% 減少**
ガス警報器検定・合格台数

● **住宅火災の死亡者減に貢献**
多機能タイプも登場　P 3

● 髙橋良典会長に聞く
新規小売事業者へ PR 強化　P 4

都市ガス警報器調査　P 5

警報器普及の取り組み　P 9

● **リースで警報器を拡販**－高齢者見守りなど多機能ＰＲ　P 17

ガス警報器工業会キャラクター
ほあんほあん（保安保安）®

さらなる需要家の保安向上へ

ガス警報器はＩｏＴ対応の機種が市場投入されるなど進化しており、電池式も設置が拡大している。一方で、需要家の保安性向上を目的に、火災警報器の販売に力を入れる事業者も増えている。６５％前後の高い設置率を維持する石巻ガスの事例のほか、新規小売事業者の東京電力エナジーパートナーの複合型警報器の普及の取り組み（P17）などを掲載する。

石巻ガス　開栓時成約率目標70％
メーカーの協力で更新進める

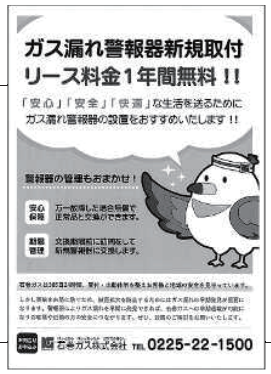
石巻ガスは、定期保安点検や機器修理の際にガス警報器設置を提案するなどの地道な取り組みを進めており、この5年間のガス警報器設置率は65％前後と高い水準を維持する。ガス開栓時にガス警報器の成約率70％、新規設置台数年間180台以上を目標に掲げている。これにより、全体の設置率の維持を図っている。

同社はガス機器の設置や定期保安点検、ガス警報器の設置などを自社社員で行っている。業務機会で需要家を訪問する際に、ガス警報器の設置の状況を確認し、設置されていても期限切れの場合は更新をお願いする。営業サービス部ソリューショングループの菅野明良課長代理は「ガス警報器は、5年リースで契約するケースが大半を占める。ここ数年、新規成約に関して最初の年間を無料にするキャンペーンを実施しており、需要家に取り付けてもらいやすくなっている」と話す。開栓時の成約率は70％近くで推移している。設置台数は21年度・22年度は220台と目標をクリアしている。23年度は139台と目標を下回る実績にとどまった。定期保安点検を行ったエリアがガス警報器設置率の高いエリアで、また開栓時に厨房以外でのガス設備がある旨を説明、安全・安心を周知し警報器設置を勧めたが設置に至らない家庭が多かったことなどが、要因とみている。24年度は、警報器研修会を実施するなどの対策を進め、再度、目標のクリアを目指す。

石巻ガスの家庭用需要家の内、戸建て住宅が4割で、残りは集合住宅だ。賃貸集合住宅は数年ごとに入居者が変わるケースが多い。入居者にはガス警報器について説明することになるが、「集合住宅は、ひとつの建築物に2戸以上の住戸がある。より安全に安心してガスを使用してもらうため、必要性、さらに快適を見守る旨を丁寧に説明して契約につながることが多い」（菅野課長代理）という。基本的に賃貸集合住宅の場合、ガス警報器の設置は入居者の判断になる。ただ、オーナーがまとめて費用を出す例もあるという。分譲集合住宅の場合は、管理組合にガス警報器の設置を提案する。管理組合で協議してもらい、了承を得ると全住戸のガス警報器を一括で購入してもらえる。

既設の需要家の警報器対応は、愛知時計電機に委託しており、5年の有効期限が切れる前にチラシ投函後、需要家を訪問して、ガス警報器の取り換え工事を行う。愛知時計電機が作業を行う中で、有効期限内に交換できなかった需要家についてはリスト化し、石巻ガスに提供してもらう。

このリストを基に、石巻ガスの社員が電話で再度連絡する。日中の在宅率が低い場合は、時間帯を工夫し連絡を取り、更新に応じてもらえれば設置工事を行う。愛知時計電機と石巻ガスが連絡を密に取り合うことで効率的に作業を進めており、全体の設置率向上に寄与している。



営業で活用するチラシ

広域消防と連携し火災警報器をＰＲ

石巻ガスは、需要家の保安確保の一環として、火災警報器の設置にも力を入れている。石巻ガスと石巻広域消防は20年7月、火災予防啓発に関する連携協定を締結した。両者で住宅用火災警報器と消火器の普及促進、維持管理の啓発を行うことで住宅防火を図り、地域住民安心・安全に資する目的だ。「住宅用火災警報器は設置が義務化されており、10年での取り換えを推奨している」という旨を表記したチラシ、ポスターを共同で作成。市内の消防署、学校、公

石巻広域消防と共同で作成したチラシ

民館、地域の集会所などに貼っている。

石巻ガスは日常的に実施する定期保安点検で、火災警報器の啓発と設置状況調査を行っている。1年に2回の情報交換会で、石巻ガスは設置状況の調査結果を広域消防に伝えている。広域消防からは、最近の傾向や火災の発生原因などについて報告を受けている。石巻ガスは、広域消防との連携を通じて、火災警報器の設置率向上にも貢献したい考えだ。

都市ガス用18・9％減少

ガス警報器検定・合格台数

都市ガス用ガス警報器の23年度の検定・検査合格台数は、前年度比18・9％減の203万3千台となった。ガス警報器の更新期限である5年前との比較では13・9％の減少。21年度は新型コロナウイルスの影響による半導体不足でガス警報器の生産が一部滞った。これを受け22年度は各都市ガス事業者が多めに調達したとみられ、23年度は在庫調整により需要が減少したと推測されている。

LPガス用については、前年度比7・0％減の233万1千台、5年前との比較では13・7％減となった。

ガス警報器工業会は23年10月に、全国の新規小売事業者や既存の都市ガス事業者向けのガス警報器周知チラシを作成・無償提供しており、これまでに10者から要望を受けている。複合型のガス警報器はガス漏れだけでなく一酸化炭素（CO）も検知できることを説明する内容だ。「ガス漏えい時にガス会社がすぐに駆け付けて調査してくれた。ガス栓につながるソフトコードがひび割れしていたことがガス漏れの原因であることが分かった」という利用者の声も紹介している。

ポスターは4万6千枚製作し、5月上旬に各事業者への配布を終えた。内訳は都市ガス用6千枚、LPガス用3万7千枚、コミュニティーガス用3千枚。GKKのキャラクター「ほあんほあん」が、ガス警報器の交換期限は5年であることを訴える内容だ。全国のガス事業者の事務所のほか、消防署などに貼付してもらう予定だ。

ポスターで５年の交換を呼びかける

消防庁

住宅火災の死亡者減に貢献

多機能タイプも登場

2001年以降の住宅火災件数をみると、01年から06年ごろまで、1万7千件前後で高止まりしている状況が続いていた。06年に住宅用火災警報器（住警器）の設置義務付けが始まったことを契機に、07年から件数の減少が顕著になってきた。その後、住警器の設置率向上に伴い、住宅火災の件数はさらに減少、19年から22年は1万件前後となった。住宅火災による死者数も05年の1220件から減少しており、19～22年は900～千人にとどまっている。

消防庁予防課の濱田賢太郎課長補佐は「住警器は設置義務化が始まって10年以上が経過しているが、消防庁では電池やセンサー等の寿命から、住警器の設置から十年を交換の目安にしている。今後、電池切れや故障する機器が出てくるとみており、年に2回行う火災予防運動で、住警器の点検・取り換えを呼びかけている」と話す。

濱田賢太郎
課長補佐

住警器は、量販店などで販売されていることから一般消費者への認知度は高まっている。都市ガス事業者でも、需要家の保安向上を図る目的で住警器の設置、取り換えに力を入れる事業者は多い。

これらの取り組みについて濱田課長補佐は「まだ、住警器を十分認識していない消費者の方もいるので、住警器を周知してもらう活動は大変ありがたいと思っている」と話す。

住警器は、当初、単機能タイプが主体だったが、CO警報機能付きなど多機能タイプが増えている。「住宅の形態や生活スタイルに合わせた製品を選ぶと効果的」（濱田課長補佐）という。住警器は、基本的に、住宅の寝室と寝室がある階の階段の上部に設置する必要がある。最近の住宅は各部屋の気密性が高いため、別の部屋で火災警報が作動しても、警報音に気が付きにくい場合があるが、連動型であれば、どこかの1室で火災を検知すると、全ての警報器が連動して作動する。火災の早期発見に効果的で、逃げ遅れの防止が期待できる。

現在、住警器は、煙または熱を検知して作動する方式だ。数年前に市場投入されたCO警報機能付き警報器は、COセンサーがCOを検知すると、煙センサー度を上げる機能を備える。寝たばこ等により布団の中で火災が発生した場合、火災の初期段階では、煙が発生しない無煙燃焼となるケースがある。こうした無煙燃焼では煙や熱は布団の外に出にくいが、COは布団の外に出るため、CO警報機能付きであれば、無煙燃焼でも煙が発生する火災でも検知

することが可能だ。

屋外警報器は、連動型と同様に複数の警報器を一斉に鳴らす機能のほか、玄関に設置したインターホンにも警報音を鳴らし、通行人など外部に助けを求めることができる。

新規小売事業者へPR強化

ガス警報器工業会　髙橋良典会長に聞く

―ここ数年の都市ガス事業者の警報器普及の取り組みをどうみているか。

17年4月の都市ガスの小売り自由化以降、ガス警報器の普及率は下がり続けている。16年には43%だったが、減少が続き22年には34%となり、まだ上向く状況にはなっていない。これでは需要家の安全安心が脅かされている状況だ。

―LPガスの警報器についてはどうか。

LPガスは、警報器の普及率が70%台でこの10年くらい横ばい状態が続いている。事故数は21年、22年と連続して増加しており、年間200件を超えている。LPガスについても普及率を向上させ、事故件数の減少をめざしてる。工業会の目標はガス事故ゼロだ。都市ガス、LPガスについて、事故をなくす手立てをこれからも進めていく。

―昨年秋に新たなチラシを作成した。

日本ガス協会に協力いただきチラシを作成した。都市ガス新規小売事業者にも訴えられるような内容とした。多くの関係団体や自治体が実施するイベントや防災関係の集会などで使っていただいている。小売事業者だけでなく需要家にもガス警報器の必要性をお伝えしたいと考え、都市ガス事業者をはじめ幅広く配布している。GKKの取り組みの基本には、ガス安全高度化計画がある。同計画には各実施主体（国、ガス事業者、需要家、関係団体等）の責任分担が示されており、国は周知・啓発活動の一環として、例えば九州産業保安監督部では、積極的に関与していただいた。23年5月には福岡県の総合防災訓練が、さらに11月には熊本県で防災フェアが開催された。この二つのイベントでは、監督部が警報器の展示とチラシの配布を行い、ガス警報器の周知PRを進めていただいた。

―電池式警報器が市場投入されて数年が経つが、ガス事業者の反応はどうか。

傾向としては、電池式の比率が向上している。ガス事業者からは、「コンセントがないところでも設置できることで設置しやすくなった」「配線を壁に敷設する必要がないため、設置場所の美観を維持できる」といった声が寄せられている。また「地震などで停電した際でも、警報器はしっかり動いてくれている」という評価もいただいている。これからも普及拡大を期待している。

―今年3月からIoT対応の家庭用ガス警報器を活用した高齢者見守り実証が開始された。このIoT対応の家庭用ガス警報器の機能と今後普及が期待できる分野について、教えていただきたい。

独居の高齢者の方が増えている。そうした人には必要な情報を提供するいい製品だと考える。災害発生時は、台所の警報器に気象・災害情報が音声で流れる。日常的には地域のニュース、居住する自治体が発信する情報なども伝えられる。高齢者だけでなく小さい子供の見守り機能も備える。ICタグを活用することで、子供が帰宅したことを検知し、両親のスマートフォンに伝達することができる。こうした機能を活用することで、高齢者宅だけでなく小さい子供がいる家庭など多様な形態の家族に必要なサービスを提供できる。

【 都市ガス警報器調査 】

ＣＯ検知機能付きと火報・ＣＯ検知機能付きは、ガス警報器の内数。ガス警報器の普及率は、ガス警報器の取り付け台数を調定件数で割った数値。普及率は全国のガス警報器の取り付け台数の合計（回答事業者）693 万 3622 台を調定件数合計（回答事業者）1951 万 4803 件で割って算出した。※西部ガスの各数値は、西部ガス熊本、西部ガス長崎、西部ガス佐世保の実績を除いている。

ガスエネルギー新聞は、全国 195 の旧一般ガス事業者と、15 の新規小売事業者を対象に、ガス警報器の取り付け台数や普及率、普及の取り組みなどを聞くアンケートを 2024 年 2 月に実施。合計 176 事業者（旧一般ガス 174、新規小売 2）から回答を得た。全ての回答事業者のガス警報器取り付け台数の合計値から算出した普及率は 35・5%（昨年は 35・2%）となった。普及率が 70% 以上の事業者は 18 事業者（昨年は 20 事業者）だった。

事業者名	調定件数	ガス警報器取り付け台数	同普及率（%）	前年度比の増減	CO検知機能付取付台数	火報・CO機能付き取り付け台数	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率
東京ガス	7,181,709	1,985,853	27.7	1.0	1,279,580	437,278	141,673	98.8
大阪ガス	4,877,184	2,394,330	49.1	-0.2	1,619,789	773,728	152,710	98.5
東邦ガス	—	—	—	—	—	—	33,441	97.0
西部ガス	626,655	292,330	46.6	0.4	100,571	151,540	9,533	98.9
京葉ガス	892,409	159,332	17.9	-0.7	95,502	60,711	7,058	91.7
北海道ガス	451,012	166,050	36.8	1.8	132,016	26,907	6,828	80.0
広島ガス	375,679	105,227	28.0	-1.6	98,494	4,855	5,305	96.5
仙台市	259,014	122,321	47.2	0.2	82,808	24,246	4,467	83.2
北陸ガス	371,234	109,853	29.6	-0.8	6,098	103,599	3,258	92.5
静岡ガス	291,551	212,174	72.8	-1.0	20,566	146,282	116	4.2
四国ガス	222,700	114,994	51.6	-0.9	84,559	7,496	4,459	73.4
東部ガス	188,294	56,130	29.8	1.3	20,130	28,807	1,073	37.4
サーラエナジー	209,322	145,543	69.5	-1.4	7,386	60,854	1,525	44.2
武州ガス	217,230	66,015	30.4	-0.8	33,655	20,356	1,003	42.4
山口合同ガス	156,195	130,528	83.6	-0.4	108,701	20,292	2,458	79.7
大多喜ガス	171,090	50,987	29.8	-0.2	15,562	35,196	843	92.4
日本ガス	122,322	39,848	32.6	-0.2	14,668	24,999	1,619	92.8
岡山ガス	120,287	43,311	36.0	-2.2	25,325	16,048	2,250	100.0
釧路ガス	59,116	21,862	37.0	-0.2	12,866	1,466	2	0.0
旭川ガス	112,520	36,937	32.8	0.2	27,311	5,003	19	3.0
滝川ガス	4,785	2,973	62.1	-0.8	0	0	29	27.2
美唄ガス	3,155	2,935	93.0	0.0	0	0	26	66.6
岩見沢ガス	2,434	1,514	62.2	0.2	3	6	1	1.4
帯広ガス	25,256	9,717	38.5	8.9	4,678	341	29	5.4
苫小牧ガス	21,577	7,338	34.0	1.1	5,057	279	2	0.0
室蘭ガス	21,090	3,597	17.1	-1.9	2,779	37	10	0.7
長万部町	966	569	58.9	0.6	0	0	0	0.0
青森ガス	15,784	6,968	44.1	-2.1	5	6	42	1.5
五所川原ガス	1,395	394	28.2	1.0	0	0	3	1.1
弘前ガス	14,461	8,578	59.3	-0.2	0	6,120	0	0.0
十和田ガス	3,618	3,241	89.6	-0.6	0	74	15	29.1
八戸ガス	14,320	9,367	65.4	-4.7	423	1,126	1	0.0
黒石ガス	3,298	2,731	82.8	-7.3	0	0	3	1.1
盛岡ガス	37,833	22,243	58.8	0.0	5	255	830	97.1
花巻ガス	3,153	1,648	52.3	0.6	71	140	71	92.7
水沢ガス	4,792	2,347	49.0	-5.8	8	0	31	19.0
釜石ガス	6,521	5,301	81.3	12.5	2,024	2,897	14	3.0
のしろエネルギーサービス	2,582	2,582	100.0	0.0	0	0	0	0.0
男鹿市	8,911	3,175	35.6	-0.2	0	108	20	66.7
にかほガス	4,634	354	7.6	0.5	0	354	6	1.2
由利本荘市	7,473	1,694	22.7	-3.0	0	1,694	0	0.0
酒田天然ガス	10,289	5,697	55.4	-0.5	683	2,698	41	33.3
鶴岡ガス	14,673	8,212	56.0	5.1	57	6,266	105	42.5
寒河江ガス	708	464	65.5	-0.5	0	0	0	0.0
山形ガス	18,811	12,707	67.6	-0.8	10,674	1,324	104	10.2
庄内中部ガス	4,902	1,736	35.4	0.3	499	976	6	9.5
庄内町	5,914	219	3.7	0.0	0	217	9	20.5
気仙沼市	2,384	1,724	72.3	2.9	1,623	40	0	0.0
古川ガス	4,357	2,493	57.2	0.3	0	1,723	8	4.9
仙南ガス	3,432	238	6.9	-1.7	88	0	65	100.0

【 都市ガス警報器調査 】

事業者名	調定件数	ガス警報器取り付け台数	同普及率（％）	前年度比の増減	CO検知機能付取付台数	火報・CO機能付き取り付け台数	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率
石巻ガス	10,748	7,004	65.2	—	2,710	1,538	144	82.8
塩釜ガス	9,574	5,438	56.8	-1.3	3,008	2,206	52	71.2
福島ガス	35,054	7,087	20.2	-5.2	4	977	754	86.3
若松ガス	13,722	2,315	16.9	3.3	639	1,548	110	69.2
東北ガス	3,633	1,013	27.9	-2.4	0	638	83	100.0
常磐共同ガス	12,859	7,798	60.6	-2.4	0	7,728	100	37.3
新発田ガス	36,571	1,620	4.4	-0.3	0	1,571	49	3.0
越後天然ガス	34,026	6,699	19.7	0.4	476	6,223	493	100.0
蒲原ガス	31,209	5,257	16.8	-0.2	6	5,237	361	100.0
小千谷市ガス	10,310	3,839	37.2	-1.1	—	—	—	—
魚沼市	7,587	1,944	25.6	-2.2	0	1,776	0	0.0
上越市	46,378	772	1.7	-0.6	52	554	143	35.0
妙高グリーンエナジー	6,980	29	0.4	0.4	0	0	138	100.0
糸魚川市	13,419	337	2.5	-0.6	9	3	93	81.6
白根ガス	26,756	1,603	6.0	-0.2	5	1,526	389	100.0
栄ガス消費生活協同組合	3,279	14	0.4	0.0	12	14	0	0.0
佐渡ガス	1,302	946	72.7	-7.4	0	0	0	0.0
栃木ガス	2,751	367	13.3	-0.4	4	210	0	0.0
鬼怒川ガス	1,297	440	33.9	1.9	0	0	100	100.0
北日本ガス	34,970	12,799	36.6	0.2	268	122	19	2.1
足利ガス	14,221	2,025	14.2	-1.5	0	2,012	243	63.0
佐野ガス	7,007	824	11.8	0.1	25	142	112	100.0
沼田ガス	1,456	168	11.5	-0.7	0	0	27	15.0
渋川ガス	2,207	335	15.2	-3.2	0	69	0	0.0
桐生ガス	21,937	1,967	9.0	0.3	90	1,097	479	99.0
館林ガス	7,245	1,087	15.0	2.3	20	762	32	11.5
伊勢崎ガス	11,319	1,882	16.6	-0.1	1,347	245	139	83.7
太田都市ガス	10,642	366	3.4	-0.1	6	0	0	0.0
本庄ガス	12,298	888	7.2	0.6	102	61	254	89.2
坂戸ガス	33,780	4,344	12.9	0.0	2,085	2,181	268	100.0
入間ガス	19,241	2,199	11.4	0.8	1,767	383	473	100.0
鷲宮ガス	10,100	695	6.9	0.1	42	556	6	13.6
日高都市ガス	6,528	1,022	15.7	3.0	291	708	29	70.0
武蔵野ガス	4,771	187	3.9	0.1	11	26	9	18.0
西武ガス	11,551	1,681	14.6	0.4	948	671	46	33.1
松栄ガス	6,720	1,158	17.2	-0.5	66	190	83	93.5
大東ガス	114,681	19,705	17.2	-0.2	18,109	572	94	11.8
伊奈都市ガス	1,411	194	13.7	-0.1	192	177	3	100.0
エネクル	11,302	370	3.3	-1.3	0	0	202	100.0
フジオックス	291	1	0.3	0.3	0	0	0	0.0
角栄ガス	17,301	6,748	39.0	-1.4	912	3,822	82	95.2
野田ガス	22,086	2,294	10.4	-0.1	369	384	161	100.0
銚子ガス	1,746	238	13.6	-1.0	0	2	20	32.2
東金市	14,079	192	1.4	0.0	0	0	0	0.0
大網白里市	12,378	13	0.1	0.0	7	3	1	0.2
白子町	2,869	540	18.8	0.2	162	378	0	0.0
習志野市	75,227	13,151	17.5	0.3	3,765	3,329	0	0.0
東日本ガス	79,419	10,456	13.2	-0.4	2,074	6,325	0	0.0
京和ガス	60,519	4,003	6.6	0.3	921	395	450	93.3
長南町	4,581	425	9.3	1.7	0	425	0	0.0
ニチガス	227,833	3,915	1.7	0.3	298	34	2,885	69.5
昭島ガス	31,952	4,445	13.9	-0.3	1,004	119	282	100.0
青梅ガス	20,778	1,234	5.9	0.0	887	298	132	86.2
武陽ガス	28,151	2,760	9.8	-0.5	494	184	241	69.8

【 都市ガス警報器調査 】

事業者名	調定件数	ガス警報器取り付け台数	同普及率（％）	前年度比の増減	CO検知機能付取付台数	火報・CO機能付き取り付け台数	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率
長野都市ガス	87,191	18,396	21.1	1.0	551	14,737	2,876	98.4
大町ガス	1,246	275	22.1	-2.2	0	0	23	76.0
上田ガス	29,939	11,554	38.6	0.7	21	11,337	414	99.9
松本ガス	22,348	5,534	24.8	3.6	3,112	1,313	415	100.0
エナキス	46	43	93.5	-6.5	0	41	1	100.0
諏訪ガス	18,047	3,871	21.4	-0.6	130	3,563	48	5.5
信州ガス	3,202	2,230	69.6	-0.7	0	0	4	0.0
厚木ガス	51,995	12,003	23.1	0.7	391	11,388	681	68.5
秦野ガス	13,073	5,324	40.7	0.2	3,999	1,020	237	100.0
小田原ガス	36,481	14,942	41.0	-0.4	12,179	1,713	318	98.9
湯河原ガス	3,040	535	17.6	5.6	16	2	0	0.0
吉田ガス	7,423	5,514	74.3	0.4	37	5,354	1	0.2
東京ガス山梨	24,202	5,732	23.7	-1.6	2,591	3,140	850	100.0
熱海ガス	14,576	8,159	56.0	-0.5	4,794	2,766	161	66.0
伊東ガス	7,611	3,590	47.2	-3.1	0	2,415	101	100.0
下田ガス	1,936	1,331	68.8	-0.3	0	0	0	0.0
御殿場ガス	3,863	3,001	77.7	-0.7	254	845	104	100.0
島田ガス	5,007	4,433	88.5	14.3	3,217	468	3	0.0
中遠ガス	8,986	6,789	75.6	0.4	3	7,473	2	0.0
袋井ガス	4,107	2,893	70.4	-2.4	23	741	5	5.7
東海ガス	50,499	39,171	77.6	0.6	34,352	4,819	163	69.4
犬山ガス	8,509	2,564	30.1	-0.4	1,338	1,173	130	100.0
津島ガス	5,623	795	14.1	-0.9	24	458	12	57.1
上野都市ガス	9,976	5,441	54.5	3.6	135	3,738	36	21.6
名張近鉄ガス	14,508	7,061	48.7	-0.6	10	2,464	343	85.4
甲賀協同ガス	2,070	1,539	74.3	0.1	0	0	3	17.7
大垣ガス	15,910	3,323	20.9	-1.4	416	2,399	48	25.9
日本海ガス	60,614	17,886	29.5	0.1	0	16,923	602	98.8
高岡ガス	12,455	4,700	37.7	1.2	0	1,649	106	37.1
金沢エナジー	56,579	6,730	11.9	-1.4	1	2,579	502	29.3
小松ガス	9,262	3,083	33.3	-0.7	0	792	151	96.2
越前エネライン	3,913	1,255	32.1	2.6	42	48	18	19.0
敦賀ガス	2,355	907	38.5	-3.3	27	36	2	1.0
丹後ガス	2,024	491	24.3	-1.2	0	340	2	3.0
福知山都市ガス	5,150	554	10.8	0.1	195	195	91	58.2
長田野ガスセンター	816	215	26.3	-7.4	0	17	34	100.0
大和ガス	63,537	15,372	24.2	2.8	3,030	3,919	480	64.4
五条ガス	2,144	743	34.7	-0.4	32	691	6	40.0
桜井ガス	6,218	1,845	29.7	0.4	354	66	30	100.0
大武	2,877	1,728	60.1	3.0	74	629	0	0.0
新宮ガス	2,973	479	16.1	0.1	1	445	68	100.0
河内長野ガス	21,444	8,445	39.4	-0.4	4,465	3,903	158	100.0
豊岡エネルギー	7,245	2,299	31.7	-1.4	1,293	954	287	99.0
篠山都市ガス	2,392	234	9.8	-2.0	0	80	59	96.7
伊丹産業	1,956	397	20.3	-6.4	233	0	76	100.0
津山ガス	5,911	2,706	45.8	1.9	2,449	232	2	0.7
水島ガス	20,001	8,965	44.8	-0.2	1,344	7,445	268	99.5
福山ガス	41,546	12,074	29.1	-0.4	303	11,690	482	99.2
因の島ガス	3,678	1,291	35.1	-6.9	0	616	11	100.0
米子ガス	10,397	2,598	25.0	—	175	2,356	23	—
松江市	12,068	4,154	34.4	8.6	585	72	7	6.9
出雲ガス	4,658	3,590	77.1	-0.9	0	3,572	70	100.0
浜田ガス	5,739	3,295	57.4	5.6	0	2,770	84	54.9
久留米ガス	24,845	3,695	14.9	1.5	2,060	122	323	99.6
大牟田ガス	9,577	3,571	37.3	-1.7	3,459	428	156	100.0

【 都市ガス警報器調査 】

事業者名	調定件数	ガス警報器取り付け台数	同普及率（％）	前年度比の増減	CO検知機能付取付台数	火報・CO機能付き取り付け台数	業務用換気警報器取り付け台数	業務用換気警報器普及率
筑紫ガス	37,370	20,570	55.0	0.8	20,215	129	210	96.1
高松ガス	1,825	442	24.2	0.1	344	98	3	100.0
唐津ガス	7,449	2,102	28.2	0.5	259	260	103	81.7
佐賀ガス	17,454	2,988	17.1	0.3	2,480	350	215	99.5
伊万里ガス	3,997	1,464	36.6	-0.9	791	672	58	100.0
鳥栖ガス	8,448	3,987	47.2	-2.1	476	3,462	100	80.4
エコア	3,234	1,478	45.7	-0.3	0	0	121	100.0
宮崎ガス	71,376	29,184	40.9	-1.0	28,737	301	1,528	99.8
南日本ガス	13,045	2,445	18.7	2.1	0	0	253	100.0
加治木ガス	4,325	125	2.9	-0.3	23	4	13	54.0
国分隼人ガス	1,936	1,100	56.8	-6.4	583	517	18	100.0
出水ガス	1,126	731	64.9	-0.1	715	0	19	53.0
沖縄ガス	60,347	32,447	53.8	0.9	50	50	1,250	66.7
合計	19,514,803	6,933,622	35.5	—	3,999,827	2,185,544	405,860	—

ガス警報器工業会キャラクター
ほあんほあん（保安保安）®

【 警報器普及の取り組み 】

東京ガス

協力企業を対象に、警報器普及促進への意識高揚と基礎知識習得を目的とした巡回教育を実施。事故事例や奏功事例をもとに警報器の有用性を認識してもらい、開栓や定保などの保安業務だけでなく機器販売やメンテなど幅広い業務機会を活用して警報器の提案をするよう周知した。各自治体の消防局と連携し、火災防止に向けた警報器の設置・交換お勧め周知チラシを合同で作成した。当該チラシを各種業務機会時に配布し、ガス警報器に加えて火災警報器についても勧めることで普及向上を図った。

大阪ガス

家庭用＝警報器の普及拡大に向け、ダイレクトメール（DM）送付などで有効期限を迎えた警報器の更新率向上や開栓時の新規取り付け促進を図り、定期保安巡回（定保）時に勧めている。２０２０年より発売したＩｏＴ警報器「スマぴこ」の天井取り付け用タイプを２２年にリリースし、普及率の向上を図っている。
業務用＝０９年１月より業務用換気警報器の無償設置施策を展開し、現在も無償設置を継続することで、業務用厨房の保安・安全レベルの向上を図っている。

東邦ガス

家庭用＝開栓、ガス機器点検時などにおける設置提案。有効期限を管理したうえで、期限前に更新提案。有効期限切れの警報器所有者に対し、架電等で取り換えを提案。販売担当者に対し、動画等を活用した研修を実施。
業務用＝開栓、ガス機器点検時などにおける設置提案。有効期限を管理したうえで、期限前に更新提案。

西部ガス

開栓時や法定点検時などの業務機会を通じ、新規取り付けの提案を行っている。取り換えに関しては、期限切れ後、未取り換えの顧客に電話で取り換えを提案している。

京葉ガス

開栓時等の業務機会を中心とした新規提案および確実な更新営業を実施している。

北海道ガス

新規取り付けは、開栓等の接点業務機会を利用し提案を実施。有効期限切れ警報器の交換は、顧客にDMを送付し有効期限内での取り換え促進のほか、法定調査等の接点業務機会での同時作業により、作業の効率化と顧客の立ち会い負担の軽減を図っている。集合住宅の共用部に設置されている警報器の有効期限切れ対策として、消防と連携したチラシを作成し、有効期限内の交換に関する周知啓発を行っている。

広島ガス

ガス警報器については、使用期限切れの１カ月前に顧客へ周知ハガキを送付して事前案内するとともに、継続設置の案を行っている。未設置の顧客には、開栓、修理訪問等の接点機会を活用し、設置提案を励行している。他社警報器および期限切れの警報器を取り付けされている顧客へ取り換え推進。

仙台市

更新率向上に向けて有効期限満了前にDM送付および事前電話連絡による案内を行っている。また、開栓時や定期ガス設備点検・メーター検満交換・保安出動などの顧客宅を訪問する機会を活用して警報器設置・交換を勧めている。

北陸ガス

満期はがきの郵送。警報器納期遅延の影響で取り換えが遅れていた顧客へ満期更新のＤＭ送付。検針時配布チラシへ警報器のＰＲ活動。警報器設置促進チラシの活用。消防との「火災予防啓発の連携に関する協定」に基づくＰＲ活動。

静岡ガス

快適環境お知らせ機能付き警報器を主力として、顧客の安全・安心のため、満期期限更新時や開栓時、その他の業務機会で設置をお願いしている。戸建持家の新設開栓時に設置していただいた顧客には、台所で火災が発生した場合、見舞金を支払う「お見舞金制度」を開始した。期限切れ・未設置の顧客に直接訪問やテレアポを実施している。新設営業部署とも連携し、新たにガスを利用いただく顧客にも案内している。期限到来お知らせハガキに二次元コードを印字し、顧客が希望日を直接入力できる仕組みを採用している。

四国ガス

あらゆる訪問機会（開栓、機器販売、故障修理、定保、顧客巡回等）において、チラシを活用した声がけの徹底を行い警報器設置の重要性をＰＲしている。満期更新においても同様に、重要性をＰＲした巡回活動およびコロナ禍や生産停止の影響を受けた未更新の顧客への後追いフォロー、追跡を行い更新率向上に取り組んでいる。

東部ガス

ＣＯ検知機能付きの警報器を主に警報器の普及促進を実施。新規設置を目的に、接点業務機会でＣＯ検知機能の重要性を顧客に伝え、設置提案を実施。満期交換時にガス警報器からＣＯ検知機能付きへのグレードアップの徹底を実施。メーカーとの商品知識、販売トークの勉強会の開催。

サーラエナジー

家庭用は、開栓の多い毎年３～５月に警報器設置の徹底を図っている。業務用は、業務用厨房を使用する顧客へのＤＭ送付を行うとともに、業務用換気警報器設置の啓蒙活動を通じて設置促進を図っている。

武州ガス

顧客との最初の接点となる開栓時をはじめ、機器販売や修理時などに設置を勧めている。

山口合同ガス

あらゆる業務機会を通じて、未設置や期限切れ更新の顧客に、設置・取り換えの折衝を行っている。また、新規設置や更新時には、複合型警報器の設置を勧め、保安レベルの向上・普及率アップに向けて取り組んでいる。

大多喜ガス

新規獲得については、ガス開栓受付時や開栓作業時、定保時などで案内し、更新作業では、満期お知らせハガキによる事前周知や電話、訪問による更新活動を実施し普及促進を図っている。

日本ガス

サービスショップに向けたインセンティブ施策を投入し、顧客との接点機会における新規取り付けや満期更新の獲得向上を目指していく。また、取り組み状況はサービスショップの経営者が集まる月例会議にて共有することで、活動の活性化を図る。

【 警報器普及の取り組み 】

岡山ガス
求めやすい価格の「安心パック警報器」の制度を２２年に新たに創設し、開栓、法定点検、修理等の顧客訪問機会を利用して周知し、新規取り付け･取り換え促進を行っている。

釧路ガス
開栓作業時や定保、また漏洩出動時などの顧客との接点機会をとらえて未設置需要家へ設置を提案する。期限切れ取り換え時の継続更新を図る。食品衛生責任者養成・実務講習会において警報器の重要性をＰＲする。

旭川ガス
開栓の電話受け付け時に合わせ設置提案。定期保安点検訪問時に、期限切れや未設置宅には警報器を積極的に案内している。集合住宅のオーナーにリースを中心に各戸への設置を提案。更新は各顧客へ _DMと電話を活用し確実な取り換え案内を実施。電池式５年期限警報器を採用し、普及促進を図っている。

滝川ガス
あらゆる業務機会において警報器の普及を進めている。また、有効期限満了需要家の警報器交換・再契約を進めて、普及促進に努める。

美唄ガス
対策方針＝今後、ガスの業務用換気警報器の普及率を伸ばしていきたいと考えている。対策状況＝ガス漏れ警報器については、今まで通りに期限管理を行い、計画的に取り換えを実施していく。業務用換気警報器に関しては、今後、業務機会を通じ普及促進に努めていく予定。

岩見沢ガス
定保や業務訪問機会でＰＲしていくとともに、チラシの掲載方法等を工夫していく。

帯広ガス
開栓時・修理訪問時等の接点機会や、定期保安点検時又はその後に再アプローチを行い、リースを中心に提案している。業務用換気警報器設置促進は､DMを送付し提案をしている。単体から複合型への取り換え促進を図っている。

苫小牧ガス
ガス開栓契約時に警報器リース継続および新規契約促進を行っている。イベント等でブースを設置し普及促進を行っている。

室蘭ガス
新規需要家には契約時にガス警報器の周知パンフレットを渡している。期限切れ警報器設置の需要家へは再度取り換え提案を実施し普及促進を図っている。また、コンセント不要で設置できる電池式ガス警報器を採用し、新規取り付け促進を図っている。

長万部町
定期的な広報掲載および法定点検時における普及促進活動。

青森ガス
開栓時にガス漏れ警報器の取り付けを依頼している。家庭用に電池式ガス警報器のＰＲ提案し、「コンセントがない」顧客などに取り付けを促進している。

五所川原ガス
開栓時および定期保安調査時等の顧客との対面時に取り付けをお願いしている。

弘前ガス
チラシの配布によるＰＲを実施。

十和田ガス
当社ではリース契約による設置をご提案しており、需要家訪問の機会にいつでもガス警報器を設置できるよう、担当社員は車両に警報器を常備している。また、既存契約の更新については、交換期限が６カ月以内を交換目安とし、訪問の機会に併せて更新するように取り組んでいる。

八戸ガス
入居開栓時、定期保安点検時等でのＰＲ活動を積極的に行っている。

黒石ガス
定期保安点検等、業務機会を通じてガス漏れ警報器の必要性を周知。

盛岡ガス
対策方針＝新規取り付けと更新取り付けを勧めることにより普及率アップを目指している。対策状況＝開栓など業務機会を通し、新規、更新設置を勧めている。期限切れ１カ月前までに更新のお知らせハガキを顧客に送付し、更新設置を勧めている。

花巻ガス
住宅用消火器とのセットリース販売、各業務機会にてパンフレット配布しＰＲしている。

水沢ガス
開栓、定保およびサービス時などに設置を勧めている。有効期限管理を行い、専従担当による警報器の交換を行っている。

釜石ガス
顧客との面談の機会（開栓、定期保安調査、器具販売等）に台帳を確認のうえ、必要に応じて警報器設置あるいは更新の案内を行っている。また、広報誌面等を活用し、ガスの安全な利用と合わせて警報器設置の促進に努めている。

男鹿市
イベントや訪問時にＰＲしているが、普及率は伸び悩んでいる。

にかほガス
定期保安調査や開栓等の業務機会に取り付け提案を実施している。また、ガス展等のイベントの際に積極的にＰＲを行っている。

由利本荘市
あらゆる業務機会を通じて、普及促進に努めている。

酒田天然ガス
ガス機器購入時に警報器設置割引を適用。年間警報器トップセールス者を対象に表彰制度を運用し、設置の普及を推進。

【 警報器普及の取り組み 】

鶴岡ガス
定保などの業務機会に都市ガス警報器未設置の顧客へ提案している。

寒河江ガス
開栓時、定期保安調査時に勧めている。

山形ガス
有効期限切れ前にＤＭを郵送。顧客の都合に合わせて交換を行い普及率維持に努めている。また、開栓、定保、各種工事など、あらゆる業務機会を通じ新規獲得および交換促進を図っている。業務用の顧客に対しては、自社メンテナンスの際などに取り付けを促進している。集合住宅は、新築はもちろんのこと、先方品も含め管理先へ交渉し普及向上に努めている。

庄内中部ガス
開栓時に警報器の設置のお願いをしている。ガス機器設置時や器具修理時等でのプラスワン営業をしている。消費機器調査終了後に警報機の説明と設置のお願いをしている。

庄内町
閉栓時や消費機器調査時、顧客と接する機会で警報器の紹介を行っている。

気仙沼市
業務機会を通じ周知。

古川ガス
定期調査時、開栓作業時、修理訪問時に取り付けを進める。

仙南ガス
定期保安点検時や屋内設置ガス機器を販売した際に警報機のリース販売を提案している。

石巻ガス
リース料金の値引きキャンペーン、社員の警報器設置に対する重要性の意識向上を図り、各業務機会で積極的なアプローチをしている。また、２０年に石巻広域消防と連携協定を結び、火災警報器の設置促進にも取り組んでいる。

塩釜ガス
業務機会を通じて普及につなげていきたい。

福島ガス
ガス開栓時および顧客へ訪問する機会がある際に、パンフレット、ウェブパンフレット、広報誌等でＰＲを行っている。ガス警報器更新の顧客には１～２カ月前に更新案内状を送り普及促進を図っている。

若松ガス
期限切れが近づいている顧客へハガキを郵送し、使用継続をお願いしている。開栓時や定期保安調査、その他の業務機会やガス展において安全確保をＰＲし、設置をお願いしている。

東北ガス
定期保安調査、開栓時に、普及促進のためのＰＲと使用継続の声かけを行っている。

常磐共同ガス
開栓時、定保時に警報器設置の安全性を説明し取り付けを推奨する。更新時期についても安心、安全継続のため、再契約頂けるよう提案する。

新発田ガス
効期切れとなる需要家に対しては、業務委託も利用し入れ替えを勧めている。

越後天然ガス
開栓、定保などのタイミングでガス警報器の啓発活動を行っている。また、ショールームや各営業所にて警報器の実機を展示し、来客時にＰＲを行っている。火災警報器については消防局と連携協定を結び、定保などの業務接点時に啓発活動に取り組んでいる。

蒲原ガス
付帯契約型選択約款「都市ガス警報器リース新規契約割引」ＰＲ強化。消防局と火災予防の啓発の連携協定を結び、コラボチラシを作成しＰＲ。警報器期満交換訪問での継続営業強化。年４回発行のＰＲチラシ「タン君通信」へ掲載。ガス展において実機によるＰＲ。ＳＮＳによるＰＲ。

小千谷市ガス
新築やガス設備更新、開栓時に警報器設置のお願いを実施。警報器設置、期限切れ警報器の更新など、需要家へ周知しているが進んでいないのが現状である。業務用警報器の普及に苦慮している。

魚沼市
ガス水道フェア（年１回開催）での展示紹介。市役所庁舎にポスター表示。開栓時に設置を勧め、リース申込書の配布を実施。開栓したまま警報器が期限切れになった施設の再開栓時に交換を依頼。

上越市
未設置需要家には法定点検時に周知するほか、ホームページやガス展等のイベントで設置促進を呼びかけている。設置需要家には有効期限前に更新案内の郵送や、法定調査の際に警報器の更新を勧めている。

妙高グリーンエナジー
開閉栓作業等の委託業者へ販売奨励金を設定し、日常業務を通じて顧客へ提案を行っている。今後はリース制度の実施を検討中。

糸魚川市
内観検査・消費機器調査時や定期周知時にパンフレットを配布して、ガス漏れ警報器の普及促進を図る。

白根ガス
あらゆる業務機会を通じて警報器の必要性等についてＰＲ活動を行っている。地域の防災訓練等において、実機を用いたＰＲ活動を実施している。

佐渡ガス
開栓時には顧客に警報器設置を説明し取り付けを勧める。また保安巡回調査、ガス機器修理などの顧客との接点機会時にも設置をお願いし、取り付けを促進する。

【 警報器普及の取り組み 】

栃木ガス
警報機を設置している顧客への対応は有効期限の１カ月前にＤＭで有効期限を案内し、取り換えの提案を行っている。新規設置については開栓時や機器修理等の日常業務で訪問した際に新規提案を行っている。

鬼怒川ガス
家庭用の需要家に対して今後全件設置を行っていく。

北日本ガス
入居時や業務機会に顧客へ警報器設置の重要性を周知し、啓発活動を実施、警報器設置の促進を図っている。また、ＣＯ検知機能付、火災警報付の複合型を提案することで、ガス漏れ以外の安全を担保できる点をアピールし設置促進につなげている。また、業務用換気警報器の設置の重要性の啓発も進め、設置促進を図っている。

足利ガス
定期保安点検時に警報器設置の提案を行っている。警報器の有効期限が切れている顧客に対して、機器メンテナンスおよび閉開栓等の業務機会で警報器取り換えの提案を行っている。本社ショールームに警報器のデモ機を常時設置し、警報器設置の重要性の周知を行っている。民間の集合住宅および行政が管理する集合住宅の管理者に対して、各戸への警報器設置の提案を行っている。学校等の公共施設へ警報器設置の提案を行っている。警報器設置のリース契約を行っている。

佐野ガス
ガス警報器の必要性や正しい使い方について、定保時などの訪問機会に広報を行っている状況。キャンペーンの実施や新築住宅における警報器設置の推奨等を行い、普及率を高めていく方針。

沼田ガス
定保時に取り付けを促進している。

渋川ガス
定保、機器修理時訪問、ガス開栓時の設置提案。リース、割引販売等により普及率向上に努めている。

桐生ガス
一般家庭用＝定保や機器修理等あらゆる機会において、警報器の必要性を説明し普及率向上を目指すほか特別キャンペーンを企画し、全社を挙げて普及促進を図っている。業務用＝ＣＯ警報器の更新時期を迎える対象需要家について順次取り換えを行っている。また、新規対象需要家についても取り付けを行っている。

館林ガス
ガスと暮らしの安心運動期間に目標台数を設定し、販売を行っている。また、期間中は割引を行い、販売、取り換え促進を行っている。

伊勢崎ガス
開栓時および接点業務時の販売促進、期限切れ警報器所有の顧客へＤＭを送付、販売台数の目標を設定し、販売促進。

太田都市ガス
顧客宅訪問機会にガス警報器の必要性等を説明し普及に努める。

本庄ガス
特別巡回時またはガス展示会、イベント時に設置を勧める。

坂戸ガス
快適ウォッチの新規取り付けキャンペーンを実施した。顧客と連絡が取れずに期限切れとなったリース警報器については取り換え推奨の案内文を郵送している。アパートやマンションのオーナー・管理会社・管理組合と折衝し交換を進めている。開栓や定保などの接点機会に取り付けをお願いしている。

入間ガス
社員、関係者に対してガス漏れ警報器の重要性と有用性を業務機会や勉強会を通じ、情報発信することにより、普及率向上につなげていくとともに、あらゆる業務機会に、警報器設置の案内を行っている。

鷲宮ガス
需要家接点業務機会時に新規取り付け、取り換え提案を実施。またガス漏れ単機能警報器から複合型警報器への取り換え提案の実施。有効期限切れ前に需要家へのＤＭ送付による取り換え提案の実施。

日高都市ガス
開栓時・接点業務機会を通じて設置をＰＲしている。

武蔵野ガス
開栓時、定保時に必ず声掛けを行い、普及率向上を目指す。

西武ガス
リースを実施。

松栄ガス
接点業務での必要性の周知。

大東ガス
マンション管理会社との業務提携 (新規顧客獲得のため)。一般開栓、定保、ガス機器販売等の顧客宅訪問時に警報器提案。

伊奈都市ガス
割引販売、リース販売の活用による普及の促進、期限管理による交換の促進。

エネクル
定保時に必ず案内を行い、設置を促す。新築物件への警報器設置促進。見積作成時に警報器を含めて提案。設置を促す。

角栄ガス
ガス開栓時に、ガス漏れ警報器の訴求を行っている。

野田ガス
定保時や開栓時にチラシを配布し販売促進を行っている。

銚子ガス
業務機会を捉え、警報器の有効性をＰＲし普及に努めている。

東金市
防災フェアでのＰＲ活動や事務所内への掲示をすることにより普及促進を行う。

【 警報器普及の取り組み 】

大網白里市

市広報紙（２３年９月号）やホームページ（業務用厨房向け）で警報器の取り付けについて周知している。

白子町

広報誌およびパンフレットの配付、消費機器調査以外の訪問時での周知。

習志野市

定保の際、ガス警報器の設置を勧めている。

東日本ガス

コールセンターにおいて全ての開栓申込み受け付けの際に警報器設置の説明を実施しており、開栓を行う社員に対して顧客情報を伝達し設置促進を図っている。また、開栓申込時に申し込みを受付けた担当者ごとの案内事例情報の共有を行っている。顧客の接点業務機会時および定保時に設置の案内を勧めている。

京和ガス

ガス展等のイベント時にガス警報器を展示し販売を行っている。また、ガス警報器の有効期限満了の顧客には交換案内ＤＭ･パンフレットを郵送している。集合住宅においては管理組合や管理会社へ交換の提案を実施している。

長南町

開栓時に警報器の設置についての推進、また、本町独自で実施しているポイント制度に付与を行っている。

ニチガス

ガスの開栓、定期調査等で訪問した際に提案を行っている。また、警報器の期限管理を行い、適切な時期に交換している。

昭島ガス

開栓業務や定保、ガス展、イベント、地域の職場体験などで警報器のＰＲ活動を行い普及促進に努めている。集合物件等には、効期切れ前に、管理組合や管理会社へ更新してもらうよう事前にお知らせを送付し交換を必ず行っている。

青梅ガス

開栓、保安点検、器具修理等で期限切れがあれば周知、取り換えを推奨している。集合住宅毎にファイルを作成し連動記録などが分かるようにしスムーズな交換作業ができるよう管理している。ＣＯ警報器については「ガスと暮らしの安心」運動時に業務用厨房需要家へヒアリングおよび交換をしている。集合住宅への設置物件については管理会社への折衝および協力を仰いで普及率と更新率の向上に努めている。

武陽ガス

開栓時や業務接点時に顧客への提案。効期切れ前にはハガキと電話にて取り換えを勧めている。ガス漏れの早期発見が非常に重要なので、マイコンメーターとガス警報器の両方の設置によりさらに安全性を向上させることを目指している。電池式や複合型など、顧客の生活スタイルに合わせた商品を勧めることで、興味を持ってもらえるよう心掛けている。

長野都市ガス

ガス事業者単独でガス漏れ警報器取り付けを訴求していくには限度があり、消防局とコラボしたＰＲをするための打ち合わせを進めている。既に一部市町村を管轄する消防局と連携し販促チラシを作成し、顧客接点機会を通じてＰＲをしている。また、秋の火災予防運動期間を通じて、消防隊員の方と地域巡回などを実施した。今後については、他の消防局との連携強化を図るとともに警報器の普及向上に努めていく。

大町ガス

定期保安以外の器具付けや器具修理等の業務機会を通じて声がけを行っています。

上田ガス

開栓、定保等訪問機会を捉えて、周知・営業をおこなっている。チラシを作成し訪問時等に配布している。ガス機器設置時に、併せて警報器を設置した顧客にガス機器を割り引き販売している。

松本ガス

開栓時にチラシを配布し、新規取り付けを推進。効期切れに関してはＤＭ送付により取り換え案内を行っている。

エナキス

警報器取り付け対象需要家に丁寧に説明し、取り付けてもらうことに注力している。

諏訪ガス

取り付け済需要家には効期切れが近くなった時期に継続のお願いチラシを配布している。未取り付け需要家には定保などで必要性を説明し設置をお願いしている。業務用需要家にも定保などで換気センサーのチラシを利用して説明し設置のお願いをしている。

信州ガス

新設や開栓時における警報器設置の周知を徹底して普及を進めると同時に、期限取り換えを確実に行なうことで普及率を維持する。ガス警報器、消火器とのセットリースを勧めている。

厚木ガス

①メーカー協力による製品知識と意識向上のための社員研修を実施②展示会、セミナーなどのイベントを通じた啓蒙活動の実施③ガス開栓時や顧客接点機会を利用したチラシ配布説明による販売促進

秦野ガス

開栓時および定保の際に取り付けを進めている。

小田原ガス

接点業務時の周知徹底および業務担当者への教育を実施している。

湯河原ガス

分譲集合住宅の場合、理事会・管理会社へ一括での取り付け（交換）の提案を行っている。その他の戸建て住宅などへは、開栓時や定期保安巡回時などに提案している。

吉田ガス

期限取り換えを確実に実施し、開栓・保安巡回・修理訪問等の接点業務に警報器ＰＲを行い新規取り付けを促進する。

東京ガス山梨

業務接点時に期限切れ警報器を確認した場合は取り換えを説明する。定保時、未設置需要家に対して警報器設置のチラシを用いたＰＲ。期限切れ警報器は１カ月前にＤＭにて取り換

えを依頼。

熱海ガス

顧客宅へ訪問した際は、必ずガス漏れ警報器の必要性を周知し、設置のお願いを徹底する。ガス展等イベントを開催する際には、周知やアンケートを実施し、さらなる普及促進を図る。

伊東ガス

複合型リース設置を勧めている。

下田ガス

定期保安調査や開栓時に取り付けを勧めている。

御殿場ガス

開栓および保安巡回時等あらゆる機会を通じて、設置いただけるよう折衝している。

島田ガス

年間計画は前年比２％アップを目標とする。定保や接点業務時にて火報・ＣＯ検知機能付きガス警報器を重点的にＰＲ。新設物件全戸への取り付け提案を実施。

中遠ガス

無料点検、訪問修理等、接点業務時の声掛けおよびガス展等イベントでの案内をする。警報器からＣＯ・火報機能付きへ複合型警報器の提案をしております。

袋井ガス

ガス警報器期限切れ需要家の再巡回を実施している。

東海ガス

ガス開栓時の獲得および、フォロー獲得に注力している。新築（器具なし）はある程度期間を置き、フォローを行い設置に取り組んでいる。とくに集合住宅は、アポイントが取れない顧客が増加しているため、他の訪問機会を利用するなど交換期限が来る前段階で交換を行っている。交換時には単機能ではなく、複合型を勧めることにより少しでも魅力のある警報器を提案している。

犬山ガス

開栓時や定期保安点検時、コミュニケーションペーパーによる定期的な周知、不定期にチラシを配布するなど行い普及拡大に努めている。

津島ガス

既設の顧客の脱落防止策として、有効期限の１カ月前にＤＭにて周知し、後日フォローの連絡を入れ更新を促している。また、有効期限を社内基幹システムの帳票に出力しているため、どの業務機会時にも社員に更新の意識付けをしている。

上野都市ガス

新規物件では必ず警報器設置を提案している。交換期限の前月に更新を促すＤＭを発送しその後更新依頼電話や訪問で更新促進をしている。集合物件はオーナーや管理会社に更新依頼をし、集合物件での警報器の重要性を説明している。業務用物件では業務用厨房事故防止対策として業務用換気警報器の重要性を説明し設置提案をしている。

名張近鉄ガス

火災警報器とのセット割引販売、開栓受付時にガス警報器のＰＲ、定保時やガス機器メンテ訪問時などの業務機会に警報器チラシ配布によるＰＲ、集合住宅オーナーへ更新ＰＲ。

甲賀協同ガス

全需要家に対し、ガス漏れ警報器の無償貸与を実施し設置率の向上を図っている。業務用ＣＯセンサーも対象需要家に無償設置を行っている。

大垣ガス

効期切れの１カ月前に、更新案内のハガキを郵送して取り換え、折衝・取り換え作業を行っている。開栓時、定保時およびさまざまな接点業務時において、未設置需要家には取り付けの提案を行っている。また、効期切れの警報器が設置してある需要家においても、更新取り換えの提案を行っている。効期切れのお知らせランプが警報器自体で点滅し、顧客から一報が入った場合は、ランプ点滅の理由を説明し、取り換え提案している（接点業務時においても、ランプ点滅の有無を確認し、点滅している場合は、同様に取り換え提案を行っている）。

日本海ガス

非安全機器から安全機器に買い替え購入時に警報器同時契約により顧客へ提供し普及促進を図っている。委託先と定期的に警報器普及促進に向けた会議を実施し、委託先毎の成功事例を共有化している。通年の警報器コンテストを企画し社員並びに委託先社員へ、インセンティブを提供して警報器普及率アップを図っている。

高岡ガス

開栓・定期保安点検・その他訪問機会を通じて、新規設置および期限切れ警報器の取り換え提案を行っている。集合住宅においては、顧客入居前に設置提案を管理会社等へお願いするよう働きかけている。

金沢エナジー

リース対応による販売促進、定保時の設置･交換の訴求実施、ガス展開催時の設置・交換の訴求実施、ガス開栓時の設置・交換の訴求および即時取り付けの実施、ガス検針票へのガス警報器広告掲載などに取り組んでいる。

小松ガス

リース、買い取りを問わず更新時期が近い顧客には地区担当者による取り換え訪問を実施。不在等で取り換えできなかった顧客に対しては定保やサービス業務等でフォローしている。また全社的に警報器取り付け率向上に取り組んでおり、警報器新規取り付け率が高い開栓時の新規取り付けを促進している。

越前エネライン

小口需要家＝新規顧客については、必ず取り付けを行うこととしている。また、有効期限切れなどは調査時に提案し交換してもらう。販売だけではなく、普及率改善のためリースを検討している。集合住宅等は、オーナー・管理者（市役所）への説明を実施している。業務用＝業務用換気警報器の１００％取り付けを目指して取り組んでいる。定期的に顧客説明は行っているが、費用負担により取り換えが進んでいない。

敦賀ガス

消費機器調査時に期限切れについては取り換えをお願いしている。器具展示会において警報機を展示して需要家に紹介している。

【 警報器普及の取り組み 】

丹後ガス
主に消費機器調査時に提案している。

福知山都市ガス
自社グループが推進している２４時間警報器連動監視システムを提案している。新築住宅への無償設置(初回のみ)を行っている。

長田野ガスセンター
業務用換気警報器は対象顧客に無償で取り付けている (対象顧客＝業務用機器を設置している需要家)。年に１回以上作動点検を実施している。定保時、イベント時に設置を勧めている。警報器リースによる設置を勧めている。

大和ガス
一般の家庭向きに、ガス料金プラン（ガス警報器無償設置＋駆けつけサービス無料を組み込んだプラン)「あんしんプラス」契約を新たに設定。実施のリース料金に当たる部分をガス料金に組み込む事で､普及率､期限切れからの更新率のアップを図る対策を本年より実施している。

五条ガス
開栓および定期点検時に警報器の取り付け･取り換えを促進。公共住宅に対しては行政機関への取り付け・取り換えを促進している。

桜井ガス
業務用換気警報器については全て対象となる業務用需要家に無償取り付けを継続実施、使用期限の切れた業務用換気警報器についても無償で取り換え実施。

大武
開栓時や定保時を中心とし、その他の業務機会で設置の重要性や安全性を伝えている、その甲斐もあって年々普及率も上がってきている。

新宮ガス
業務機会を利用してガス漏れ警報器の必要性、機能を説明して設置を提案しているが、思うように成約を取れていない。

河内長野ガス
キャンペーンを展開し､全社にて以下の活動を実施している。コールセンター開栓受付時および開栓作業時の設置勧誘。定保等の業務機会における設置勧誘および期限切れ警報器発見時の取り換え勧誘。緊急対応時や本支管入れ替え時等における設置勧誘。未更新宅への電話や訪問による不在フォロー。更新時期を見据えた集合住宅の管理会社等への事前アプローチなど。

豊岡エネルギー
開栓時の新規取り付けや更新率アップのため、報奨金施策を設けている。警報器リースや電池式警報器の採用により、設置率アップを図っている。

篠山都市ガス
自動通報装置を導入し、警報器とガスメーターを連動させることで安全性をＰＲ･買取またはリースでの契約を可能にし、顧客のニーズに対応・有効期限を管理し期限切れ前に取り換えの提案をすることで普及率の減少を抑える。

伊丹産業
電話回線を利用した警報遮断連動型の警報器の取り付け促進を行っているが、費用負担等の理由から設置台数が伸びていない。ＬＰ部門での実績、事例等を紹介し、安全性をアピールし警報器の普及を目指している。また、新規物件では、ガス工事の見積段階で需要家へ見積を提出し採用してもらえるように折衝している。警報器の無料点検の実施やリース販売を実施。業務用換気警報器設置対象需要家へは５年間無償貸与を行っている。

津山ガス
定期保安調査およびあらゆる業務機会にて設置提案を実施。

水島ガス
警報器の普及については、納期遅延の影響は緩和されたものの新規設置が伸び悩んでいる状況。社内で警報器提案キャンペーンなどを実施し、徐々に警報器の普及率は回復傾向となっている。今後については、接点機会やガス開栓時に積極的な提案と、電池式警報器の普及にも努めていく。

福山ガス
開栓時に警報器の取り付けをお願いしている。期限切れを対象にハガキで周知している。

因の島ガス
開栓時やその他業務（修理等）機会に設置を勧めている。

松江市
開栓時や定期保安調査時などの接点業務時に設置を勧めている。またガス展等イベントがある場合には、普及促進を図っている。状況として､普及率の改善はみられるものの、まだ充分とは言えず、引き続き対応を行う。

出雲ガス
専任者がいない中で、業務を通じた更新。新築物件への積極的な提案。

浜田ガス
ガス使用申込時と業務機会訪問時に新規取り付けの促進。更新時、５センサー警報器に取り換えてもらえるよう折衝している。

久留米ガス
取り換え物件を着実に働きかけることで取りこぼしをなくすことに注力している。集合分譲住宅理事会や取引会社への定期的・計画的な提案と安全啓蒙の実施。開栓時での当社作成チラシを利用した設置案内。

大牟田ガス
新築物件＝設計段階より警報器設置の案内を行い、設置率８０％以上を目指す。取り換え＝有効期限前に訪問や電話を行い取り換え率の向上と普及率の向上を目指す。該当機器設置の顧客への業務用ＣＯ警報器無償取り付け。

筑紫ガス
一般家庭の顧客＝既築マンションで、先方品警報器（当社に登録なしで期限切れ）を管理会社に提案し一括販売の取り付けを行っている。業務用の顧客＝通常、リースにて設置をしているが金額的に拒まれる顧客に対し、機器の価格を下げて設置している。

【 警報器普及の取り組み 】

高松ガス

開栓、保安点検時に取り付け、取り換えの推進。取り換え期限が近づいた顧客にＤＭを郵送して取り換えを促進。顧客の費用負担を軽減すべく分割払いとし、毎月のガス代と一緒に引き落としを実施。

唐津ガス

顧客訪問時、チラシ配布。警報器を設置した顧客に対して、機器修理時、基本料金を千円値引きする。機器取り換え時、一般販売価格より５％割り引いて販売する。

佐賀ガス

普及率アップへの方針として開栓時、法定点検時の提案、また毎年２月の検針時に警報器設置促進チラシを全戸に配布する事で普及率アップへの取り組みとしている。

伊万里ガス

開栓時や法定点検などの業務機会に新規取り付けや警報機の更新を行っている。有効期限前にお知らせの連絡を行い、取り換えを実施。期限切れ未取り換えの顧客へは、再度電話で訪問のアポを取って取り換え提案を行っている。

鳥栖ガス

ガスと暮らしの安心運動にあわせてチラシ配布を行ったほか、展示会にてデモ機を設置しＰＲを行った。

エコア

供給開始時点検､定保その他の業務機会を通して警報器設置、取り換え提案を行っている。

宮崎ガス

ガス展・防災展等のイベントでの呼びかけ、開栓・定保等での業務機会を通じて普及に取り組んでいる。

南日本ガス

普及率向上のため、新築時での確実な設置促進と既存の未取り付け需要家に対しては、開栓・定期保安調査時等での業務機会を通じ取り付け促進を図る。また、取り付け需要家に対しては、期限管理を徹底し確実な取り換えを実施する。

加治木ガス

開栓時、新規取り付け促進の徹底。期限切れを迎える需要家への取り換え促進。

国分隼人ガス

保安点検や開栓、修理訪問時に満期取り換えや新規提案を行っている。

出水ガス

ガス警報器について、担当を割り当て、担当者を中心に施策を行っている。

沖縄ガス

開栓訪問時、定保調査時に設置および取り換えの案内をしている

新規小売り東電ＥＰの例

リースで警報器を拡販

高齢者見守りなど多機能ＰＲ

東京電力エナジーパートナー（東電ＥＰ）は、都市ガスのプラットフォーム事業と保安業務を担うグループ会社・東京エナジーアライアンス（ＴＥＡ）を通じて、ガス警報器の販売事業を進めている。ＴＥＡは、東電ＥＰが二チガスと２０１７年８月に設立した折半出資会社。30年度までに30万件以上の成約目標を掲げ、普及拡大を進める。

ＴＥＡは、東電ＥＰの都市ガス需要家のガスの開栓、定期保安巡回（定保）などの業務のほか、ガス警報器の販売事業を担っている。東電ＥＰの都市ガス需要家数は24年３月末現在１４４万件。ＴＥＡは、これら需要家へのガス警報器の周知・販売活動を進めている。東電ＥＰは、22年５月にリース方式で通信機能付きガス警報器を需要家に提供するサービス「ＴＥＰＣＯみはりばん」を開始した。同サービスは、需要家宅にガス警報器を設置し、ガス漏れ、火災、一酸化炭素（ＣＯ）を検知すると警報するほか、自宅や周辺の住宅で停電が発生すると内蔵蓄電池で警報器を作動させ、音声で停電発生を警報、需要家のスマートフォンにも通知する。このサービスもＴＥＡが販売している。

同社の担当者が都市ガス需要家を定保で訪問する際にガス警報器の有無を確認し、有効期限、メーカー、型式などの情報を管理台帳に記録している。警報器が期限切れになっていた場合は「みはりばん」を需要家に案内する。

定保の場合、15分程度の作業時間があり、その待ち時間を使い、需要家へみはりばんの機能を紹介している。紹介は主に、タブレットで3分程度の動画を見てもらうほか、チラシも活用して説明している。

東電ＥＰガス事業部保安・設備防災グループ山下慶朗課長は「動画を見て、みはりばんに関心を示してくれる顧客がいる一方で、今まで（ガス漏れがなく）安全だったので大丈夫（警報器は不要）という顧客もいる」と話す。

みはりばんが成約すれば、東電ＥＰから成約台数分の手数料が支払われる。ガス警報器の設置台数は非公開だが「現場の担当者レベルでは、保安向上の観点から、みはりばんを顧客に紹介することを競い合う状況になっている」（山下課長）。東電ＥＰの担当者が現場に同行して販売指導を行うなどの取り組みにより、成約率の向上を図る。

みはりばんには高齢者対応の機能もある。一人暮らしの高齢者が、換気扇を動かさずに自宅のコンロの火を付けっぱなしにしていると、台所のＣＯ濃度が上昇し、これをＣＯ警報機能で検知、警報を入居者と離れて暮らす家族にメールなどで通知する。この機能は利用者から好評の声が出ているという。東電ＥＰは、こうした付加サービスなどもＰＲしながら、みはりばんの普及を進める。

新規小売事業者の取り組み

中部電力ミライズ

家庭用需要家の保安は、委託する中電エナジーサービスとともに法定の保安調査に加え、自主的な保安活動を実施している。自主保安活動の一環として、保安調査時や個別訪問時等の機会にガス警報器の設置状況または有効期限等を確認し、未取り付けの場合はガス警報器の有効性などを説明するとともに取り付け、交換を推奨している。また、ウェブでもガス警報器の問い合わせ先を掲載している。

九州電力

保安業務のうち、開栓作業および定期の消費機器調査は外部に委託している。ガス警報器は販売・リースを取り扱っており、販売は提携店にて、リースは当社にて行っている。提案活動としては、顧客へ案内チラシやハガキを送付している。また開栓作業や定期の消費機器調査時にガス警報器の有効期限が切れている場合は、当社への連絡を促し、設置を推奨している。

小売業者が変わった場合の対応

大阪ガス

取り組み＝今まで通り警報器の提案を実施している。課題＝スイッチング顧客は、更新率が若干下がる傾向があり、案力の向上が必要。

西部ガス

取り組み＝有効期限２カ月前に期限切れのお知らせをＤＭで送付している。期限切れ取替えの提案に関しては、訪問活動やコールでの提案を行っている。課題＝スイッチ後の顧客が閉栓したなどの情報は、西部ガス小売りとして知りえない情報となるため、警報器を現金で購入された顧客が転居されていることを把握できずに、警報器取り換えの訪問やコールをかけてしまうこと。

【 警報器普及の取り組み 】

北海道ガス

スイッチング時に当社リースのガス警報器が設置されている顧客はリース契約が継続され、有効期限満了を迎えるタイミングでリース契約の更新案内を行っている。

北陸ガス

現在、他の小売事業者の参入がないため、具体的な取り組みは行っていない。

静岡ガス

スイッチング時に現行の契約状況を説明し、契約の継続をお願いする。新規小売事業者にはガス警報器の設置意義を伝え、取り扱いがない場合には当社での継続を顧客に伝えてもらう。

四国ガス

当社エリアでスイッチングがまだ発生していないため、取り組みは行っていない。ガス警報器を継続して設置する場合、当社需要家から他社需要家になったときのリース継続の仕組み等をどのように構築するかが課題。

東部ガス

変更になった場合には、リース警報器契約解除となり、警報器を取り外す。継続設置の希望に対しては、売り渡しで対応している。

サーラエナジー

関連会社へのスイッチングは、当社と同様の対応をしている。関連会社以外へのスイッチング発生時の対応については現在検討中。

武州ガス

スイッチング以降も期限管理を継続し、期限切れ前にハガキを送付している。

大多喜ガス

スイッチングにおける当社リース警報器の取り扱いについては、導管事業者として保安レベルの維持を考慮し、スイッチング以降も基本的にはエンドユーザーに継続設置してもらうこととしている。なお、更新の際は、売り渡しでの更新を勧める。スイッチング以降のエンドユーザーや他小売り事業者による警報器設置・期限情報管理等には、既存システムの改修が必要となることが課題となる。

日本ガス

当社リースの警報器設置済の顧客がスイッチングで他社転出となった場合、満期までのリース残金をスイッチング先へ請求し警報器を譲渡するため、当社の管轄外となる。そのため更新提案等はスイッチング先が行う。ただし当社は緊急保安対応のため、スイッチング先が警報器を更新した場合、その情報を受領・管理する。

岡山ガス

期限切れ警報器の放置を防ぐため警報器の取り外し、および小売事業者に対し更新の働きかけを検討している。

東彩ガス

他社小売事業者からの情報提供を受けていないので、集計不可能。またスイッチングで小売事業者が変更になった場合は、当社小売事業者が警報器を取り外している。

旭川ガス

現在、当社においてはスイッチングで小売事業者の変更が発生していない。将来的にスイッチングが発生した場合も、更新継続および新規設置の促進策を小売事業者と申し合わせの上、進めていきたい。

帯広ガス

スイッチングの実績はないが、警報器の提案・更新を小売事業者に委託する場合のその費用、鳴動時（誤作動含む）の対応連携の明確化などの課題があると考えている。

長万部町

現在スイッチングの実績なし。今後スイッチング予定が発生した場合検討が必要。

のしろエネルギーサービス

供給開始時点検調査の実施の際に警報器の期限確認および交換の提案を行っている。

由利本荘市

開栓時の説明で警報器の確認項目を作っている。ガス漏れだけではなく、CO・火災と複合型である点を強く説明している。ガス警報器は、設置の義務化はないため、価格面（リース料）で取り付けないという需要家が課題。

気仙沼市

スイッチング見込なし。警報器は需要家の買い取り（所有）なので定保時（業務機会）等に交換を促す。

仙南ガス

具体的な取り組みはないが、今後の課題は、リース契約での設置提案やリース契約の更新。

魚沼市

小売事業者が変更になった場合は、既存のガス警報器は取り外しとなり、新たな小売事業者が取り付けることになると思われる。

上越市

現時点で新小売の参入はなくスイッチングによるガス警報器の更新や提案の取り組みは行っていない。

糸魚川市

新たな小売事業者に情報提供を行い、更新の提案を依頼する。

白根ガス

新規参入がない状況であるが、今後参入によるスイッチングがあった場合は、スイッチ申込時に警報器の安全性を説明し引き続きご利用いただくようお願いする予定。

北日本ガス

スイッチングで小売事業者が変更になった場合、警報器更新および提案は行っていない。

沼田ガス

サテライト供給事業者なので、スイッチングの可能性がなく考えていない。

桐生ガス

変更先の小売事業者にお願している。

【 警報器普及の取り組み 】

館林ガス
スイッチング時に更新、提案の取り組みを行っていない。

伊勢崎ガス
他社小売りの需要家については、更新提案は実施するが、新規取り付けの提案は実施しない。また、小売事業者に警報器の普及促進の協力を求める。

本庄ガス
スイッチング後もガス警報器を設置している需要家へ保安として更新の案内を行う。

入間ガス
更新・提案は行っていない。社内システム、体制、ルールが確立されていない。

西武ガス
ＤＭ等で更新の周知を実施予定・現在リースで設置している物の取り扱いについては、需要家に買い取ってもらうか、または撤去している。

大東ガス
取り組み＝変更後の小売り事業者に有効期限等の当社警報器情報を伝え、更新等の対応を依頼。課題＝顧客が再度スイッチングをした場合、対応会社が何度も変更になり、混乱を招く恐れがある。

伊奈都市ガス
消費機器情報の授受による設置情報の引継ぎ。

習志野市
新規参入者が消費機器調査など小売に関する保安を実施しているため、習志野市では変更となった需要家のガス警報器の更新等に関する取り組みは実施していない。

東日本ガス
警報器満期交換のタイミングで連絡、周知を実施している。また、スイッチング申込の確認を実施する場合はその際に警報器の契約を継続するか否かを確認している。

京和ガス
スイッチングした顧客情報を提供しているのでガス警報器の更新・提案は、変更先の小売事業者が行っているものと思われる。集合住宅においては管理組合や管理会社より一斉交換の依頼を受ける場合があるのでその際は、当社で対応している。

ニチガス
スイッチングでは顧客と直接会う機会がないため、ガス警報器の設置、更新の取り組みは進んでいない。今後どのような形で交換を促進していくかが課題。

昭島ガス
スイッチングにより事業者が変更となった場合、売り渡し契約の場合には、先方資産となるため小売事業者に管理を委ねている。また、リース契約の場合には、当社で撤去作業を実施している。

武陽ガス
スイッチング需要家については取り組みが思うように進んでいない。期限切れ前にはハガキと電話にて取り換えを勧めている。業務接点時（定保）に顧客へ更新、新規提案を行っている。

長野都市ガス
現時点で、当社管内で新規参入がないため課題等は顕在化していないが、今後、新規参入事業者にスイッチングが行われる場合、警報器の取り扱いをどうするかという点は大きな課題と認識している。具体的には、①リース警報器の取り扱い、②無償取り付けしている業務用換気警報器の取り扱い等が挙げられる。

松本ガス
新規参入がないため検討中であるが、有効期限管理の不確実性による保安レベルの低下が課題。

エナキス
スイッチングで小売事業者が変更になった場合でも、システム管理による更新提案を行っていく。

厚木ガス
リース契約をしている需要家が、スイッチング（離脱）の際には小売部門より連絡の上、更新せずに取り外しを実施する。またスイッチング（復帰）の際には、小売部門にて契約時ご提案を実施しています。

東京ガス山梨
リース物件＝回収（警報器解約の周知と回収日調整の実施）買取物件＝残置（使用者に安全周知）。自社小売りの顧客には期限管理と更新を案内する。

島田ガス
スイッチング事例なし。非需要家に該当するため、更新管理および提案は検討中。

袋井ガス

ガス小売事業者が変更になった場合は、ガス警報器の更新を実施している。

大垣ガス
リース契約中の場合は、スイッチング前にリース解約を知らせ、スイッチング後に取り外している。一括支払いの場合は、効期切れ前に取り換え更新の案内を行い、要望を受けた場合は取替を行うが、リースを希望する場合は断る。

大和ガス
スイッチングに関係なく期限管理を行い、取り換え更新を案内している。

河内長野ガス
現時点、家庭用において他社参入がないため、具体的には検討していないが、エリア内の普及率維持・向上のため、スイッチされた場合でも残置してもらう方向で検討したい。ただし、口座振替による精算が前提となるため、警報器単独になった場合の、振替手数料分の引き上げや期限管理のための顧客情報の管理などクリアすべき課題がある。

水島ガス
現状、他社小売事業者が参入していない。小売事業者が変更になった場合は、変更の小売事業者から需要家へ更新、提案を依頼してもらう。また定保（当社が実施する場合）において需要家へ提案を実施する。

久留米ガス

現在スイッチングの実績はないが、実際にスイッチングが発生した場合は、有効期限の管理や更新精度、所有区分等に課題があると考えている。また、リース料金システムについても検討の必要がある。

大牟田ガス

まだスイッツチングは発生していないが、保安重視のため、警報器は撤去せず引き継ぐ計画である。

鳥栖ガス

現時点でスイッチング実績なし。スイッチングが発生した場合はリース警報器については残額を精算し、以降は新小売事業者より更新等の提案をしてもらう形を検討している。

宮崎ガス

当社に、未だ、スイッチングの事例がない。どのように取り組むのか、今後、検討していく。

南日本ガス

新規ガス小売事業者の参入はなく、スイッチングの実績はない。

出水ガス

スイッチングでの変更がないため、特に取り組んでいない。

沖縄ガス

小売事業者へ設置情報を引継ぎするが、顧客への意思確認を行うのが難しい。

ガス警報器工業会キャラクター
ほあんほあん（保安保安）®